

2021年12月23日

千葉総合リースにおける芙蓉総合リース・芙蓉オートリースとの 業務提携に基づく「ゼロカーボンシティ」の取組推進

当行子会社である千葉総合リース株式会社（代表取締役社長 尾地 隆一郎）は、芙蓉総合リース株式会社（代表取締役社長 辻田 泰徳）および芙蓉オートリース株式会社（代表取締役社長 長野 克宣）と締結した「芙蓉 ゼロカーボンシティ・サポートプログラム」（以下、本プログラム）にかかる業務提携に基づき、千葉県内における「ゼロカーボンシティ（※1）」の取組みを推進いたします。

本プログラムは、「ゼロカーボンシティ」を表明した自治体エリア内に設置される電動車等（例：ハイブリッド車、電気自動車、燃料電池自動車）や、再生可能エネルギー・省エネルギー設備機器等を導入するお客さま（自治体、企業、医療機関・教育機関等の団体）に対して、自己資金なしで導入可能な、リース・割賦等のファイナンスを行うとともに、その契約額の一部についてお客さまと芙蓉リースグループおよび千葉総合リースが連名で寄付を行う寄付金型プログラムです。なお、寄付にあたってお客さまのご負担はございません。

※1 ゼロカーボンシティとは、「2050年までに温室効果ガスまたは二酸化炭素の排出量を実質ゼロ」にすることをめざす旨を、首長自らがまたは自治体として公表した地方自治体のこと。

＜プログラム推進スキーム＞

当行および千葉総合リースが所在する千葉県では、県および県内複数の自治体（※2）がゼロカーボンシティを宣言しています。今般の業務提携により千葉総合リースは、当行と連携し、ゼロカーボンシティを宣言している県内自治体エリアにて対象車両・設備・機器を導入されるお客さまに、リース契約等を通じて本プログラムをご提供いたします。

※2 ゼロカーボンシティを宣言した千葉県の自治体（2021年11月30日現在）

千葉県、山武市、野田市、我孫子市、浦安市、四街道市、千葉市、成田市、八千代市、木更津市、銚子市、船橋市、佐倉市、館山市、南房総市、君津市

以上

